

初めての県聴覚障がい者防災講習会!!



11月23日(月・勤労感謝の日)に県共同募金会の助成を受け、平成27年度福井県聴覚障がい者防災講習会を開催し、29名の聴覚障害者と福井市および南越前町の福祉課職員を含め、80名の参加がありました。

イラスト表示 AED(自動体外式除細動器)の説明を受けた後、済生会病院のAHA-ACLSセンターのインストラクター5名より指導をいただき、手話通訳と要約筆記の情報保障を受け、聴覚障がい者が救急救命の実技を体験しました。

福井市中消防署より、「災害その時!生き残るために、生き続けるために」と題して講話をいただきました。

続いて、福井市消防局より福井市の「緊急119メール」の説明を受け、希望した聴覚障がい者は申し込み書に記入しました。

引き続き、「避難訓練」を行いました。今回は、県社会福祉センターで火災が起きたという想定で、専用のベストとヘルメットを着用した手話通訳・要約筆記の先導により、東側駐車場に退避しました。

そのまま東側駐車場において、参加した聴覚障がい者全員が消火器を使って「消火訓練」を体験しました。

その後、「緊急119メール」の申し込みをした聴覚障がい者は、残って試験通信を行いました。

聴覚障害者支援用具の、反射ベスト(手話通訳・要約筆記文字プリント標記)30着、防災ヘルメット30個、他に防災グッズ3セットを整備しましたので、地域の避難訓練に聴覚障がい者も参加する際は、貸出をいたします。是非お問合せ下さい。

2015年(平成27年)11月24日(火曜日) 福井新聞

心臓蘇生法の訓練に取り組み聴覚障害者 23日、福井市の県社会福祉センター(新谷貴之撮影)



聴覚障害者の防災探る

福井訓練、講演で80人

災害時の聴覚障害者支援のあり方を考える防災講習会が23日、福井市の県社会福祉センターで開かれた。県内の聴覚障害者や手話、要約筆記サークルの会員ら80人が参加。救命救急訓練や講演などを通して、聴覚障害者が参加できる地域の防災訓練の必要性について理解を深めた。防災訓練に手話通訳支援などを取り入れるきっかけにしようと、県聴覚障がい者協会が初めて企画した。講習会は、手話通訳者と要約筆記者が同時通訳しながら行った。操作手順が表示される画面がある自動体外式除細動器(AED)や心臓マッサージ体験では手話やホワイトボードを見ながら、県済生会病院の職員の手引きを受け取り組んだ。講演では福井市中消防署の坂下和敏主任が台風や地震など状況に応じた対応の必要性を紹介し、災害情報はほとんどが音で知られる。周囲の人の動きに注意し変化に気付くことが必要で、積極的に情報を集めてほしいと呼び掛けた。聴覚障害者の磯野信雄さん(85)「福井市には「災害時の対応など勉強になった。聞かないと本当に不安。参加できる防災訓練が各地に増えるといい」と話していた。(谷辰則)

わかやま全国障害者スポーツ大会を視察

10月23日(金)～25日(日)の3日間、ろうあ協会:佐々木憲一氏、中途失聴・難聴者協会:村瀬康夫氏、福井県手話通訳問題研究会:大六奈穂子氏、全国要約筆記問題研究会支部:黒川裕子氏(手書き)、内藤悦子氏(パソコン)、手話サークル連絡協議会:山田幸代氏が、センター職員の石田、竹原、西川は10月22日(木)～26日(月)の5日間、紀の国わかやま大会で情報支援等のあり方を視察してきました。

全会場に情報支援ボランティアを配置されていて、質問にも笑顔で答えていただき、大変参考になりました。福井における大会時には、ぜひ見習いたいと強く感じました。和歌山県の皆様ありがとうございました。

カリキュラム・テキスト検討部会

要約筆記部会を12月7日(水)に、手話部会を12月中旬に開催します。

全国共通の大会用語・競技用語普及のため、過去の大会開催地のデータを参考に、手話表現を確立します。

来年度には、情報支援ボランティア養成テキストの印刷と、養成用手話DVDが完成しますので、ご期待ください。

情報支援ボランティア参加意向調査

県内の手話サークル・要約筆記サークル、手話奉仕員養成・手話通訳者養成・要約筆記者養成講座を受講中の方、および過去の受講者に、「しあわせ元気大会」への参加意向を調査するアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。

ご協力いただけると回答された方には、来年度に具体的なご協力のお願いが県から届きます。

情報支援ボランティア研修会のご案内

来年2月27日(土)10:00～15:00に、紀の国わかやま大会の情報支援ボランティアコーディネーターおよびリーダーをお招きし、福井市のフェニックスプラザ2F小ホールにおいて、全国障害者スポーツ大会に向けての準備や心構え等を学びます。

聴覚障害者、手話・要約筆記学習者だけでなく、これから大会で情報支援をしてみたい一般市民にも、参加を呼びかけます。

詳しくは、1月にお配りする案内チラシをご覧ください。

しあわせ元気国体・大会ダンスソング手話バージョン収録

3年後の「福井しあわせ元気」国体・大会のダンスソングである、「君が最高に輝くように」の手話バージョンを作成し、DVDにより指導普及するため県ろうあ協会の協力を得て、この度収録が行われました。

作詞家の方と、音声語の直訳ではなく手話として通じるよう、何度も協議を重ね苦労して意識をしました。完成したら、当法人のホームページにも掲載しますので、ご期待ください。



手話通訳技術向上推進事業全国共通手話表現

国体および全国障害者スポーツ大会に向け、全国共通の大会用語や競技用語の手話を普及するため、県内の手話サークル会員に対し、全国障害者スポーツ大会と情報支援ボランティアの意義、DVDによる手話表現の学習を行っています。今年度は8サークルに講師と手話通訳を派遣し、来年度も他のサークルへの指導者と手話通訳者を派遣する予定です。

筆談ボランティア越前市会場

県障害福祉課では、手話の困難な難聴者や中途失聴とのコミュニケーションに必要な筆談の基礎知識・技術を習得するための、「筆談者養成講座」を開催しています。

丹南会場＝国高労働福祉センター(越前市瓜生町 38-8)

平成 28 年 1 月 10 日～2 月 7 日 毎週日曜 13:00～16:00 5 回 15 講座

申込先：福井県健康福祉部障害福祉課 TEL 0776-20-0338 FAX0776-63-6692 へ

要約筆記者移行研修講座の募集

H.28.1/9(土) 10(日) 23(土) 24(日) 30(土) 31(日) 2/13(土) 14(日)に、要約筆記者移行研修事業を開催いたします。

既に「要約筆記奉仕員」として活動している人に対し補講を行うことにより、「全国统一要約筆記者認定試験」の受験および合格率を高め、登録要約筆記者が増加することを目的として、全国要約筆記問題研究会本部より実技講師をお招きし、特別講義に大学教授等をお迎えして行うもので、県社会福祉センターの3F 老人談話室で開催いたします。

現在要約筆記養成を受講中の方も移行研修を受講可能とするため、12月21日(木)を申込み〆切とさせていただきます。お問合せ、お申し込みは当聴覚障がい者センター事務所まで。

平成 27 年度全国统一要約筆記者認定試験

全国统一要約筆記者認定試験が平成 28 年 2 月 21 日(日)に行われます。

福井の会場は県社会福祉センターで、受講料は手書きのみ、パソコンのみは、4,200 円。両方受験は 6,300 円です。受験申込締切は郵送なら 12 月 22 日(火)消印有効、ご持参なら 24 日(木) 17:00 までとさせていただきます。申込先は福井県聴覚障がい者センター FAX 0776-63-6692 TEL 0776-63-5572 です。詳しくは当センターのホームページをご覧ください。

障害者スポーツ大会アスリート強化事業

聴覚障害者バレーボール男子チームの代表を、丸山理事長個人が担当する運びとなり、当法人事務所が事務局を受け持つこととなりました。

受託契約はあくまでもチームとなり、事業計画・会計予算と実績報告・収支決算をサポートします。今年度は 11 月 12 月 1 月 2 月の 4 回、練習を行います。

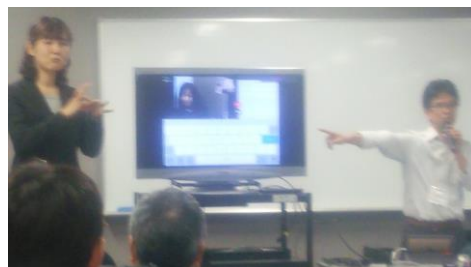
なお、手話通訳・要約筆記の派遣は、聴覚障がい者センターへの別依頼となります。

また、選手を募集しています。男女共に、平成 30 年 4 月 1 日現在で 13 歳以上になる障害者手帳を有している人なら、どなたでも応募できます。ふるってお申込みください。



聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会

主催：全国聴覚障害者情報提供施設協議会
主管：情報メディアに関する専門委員会
期日：27年11月11日(水)13:00～13日(金)11:30
会場：群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザ
参加者：情報提供施設ビデオ制作IT担当職員42名
1日目【著作権に関する取り組み】【電話リレーサービス】【IPTVと障害者専用放送の今後について】



2日目【デフV映像制作関係の手話】【ビデオクリニック「魅力ある映像作品」】【地デジ放送に字幕をパート2】【トラブルシューティング：用途に応じたファイル形式】【応用コース】事前アンケート質問に答えて。字幕ソフトSST-G1、無停電電源装置のバッテリーの耐用年数、フォントの著作権、聴覚障害者向け大学授業の映像教材に字幕、字幕制作責任団体の画面表示、CMへの字幕、指定管理による事業収益の取り扱い、カメラのマイクと音声ライン取り、ワイプとクロマキー、等。

3日目【グループ討議】「どのようなものを作りたいか考える」

7～8名ずつの5グループで討議、ろう学校で使えるビデオ教材、情提同士の連携、中・四国ブロックでは情提間協力、制作・撮影スタッフ・キャスト・編集、字幕ボランティア、観光ガイド動画、全国情報提供施設協議会の情報共有等。 報告者：石田稔

障害者フライングディスク指導員養成講習会 参加者募集のご案内

期日：平成28年2月6日(土)13:00～17:00、2月7日(日)9:00～17:00

会場：県社会福祉センター身障第2研修室

締切：平成28年1月20日(木) 受講料無料

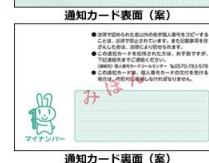
申込：福井県障害者フライングディスク協会事務局

FAX 0776-34-8133 E-mail=fukui_fd@waiwai-p.com

※申込書は福井県聴覚障がい者協会事務所にあります。

マイナンバー通知カードは届きましたか？

「マイナンバー通知カード」が入った簡易書留の発送が始まりましたが、届いた人とまだ届いていない人がいます。受取りには本人確認が必要で、不在の場合は専用の「不在配達通知書」により、自宅への再配達か勤務先への再配達もしくは郵便局窓口で受け取ることができます。



しかし、今回のものは12桁の個人番号を知らせる「通知カード」に過ぎず、本当の「個人番号カード」は市区町村に申請をして、平成28年1月以降に初めて交付を受けることができるプラスチック製のものです。顔写真が表示されます。「通知カード」と一緒に入っている「個人番号カード交付申請書」に、本人の写真を貼り返信用封筒に入れて郵送すれば、作ることができます。

編集後記

あっという間に師走となってしまいました。事業・行事に追われ、課題が山積したままで力不足を痛感します。設立当初からみれば業務量の増加が顕著で、職員数不足による残業・休日出勤を防ぐための仕事の効率化にも限度があり、頭痛の種です。